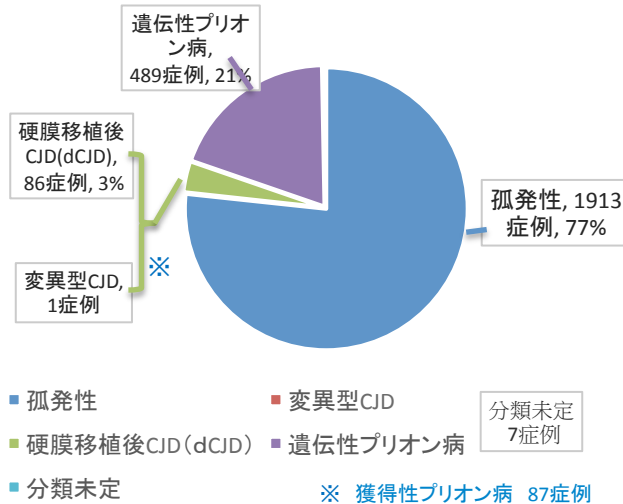


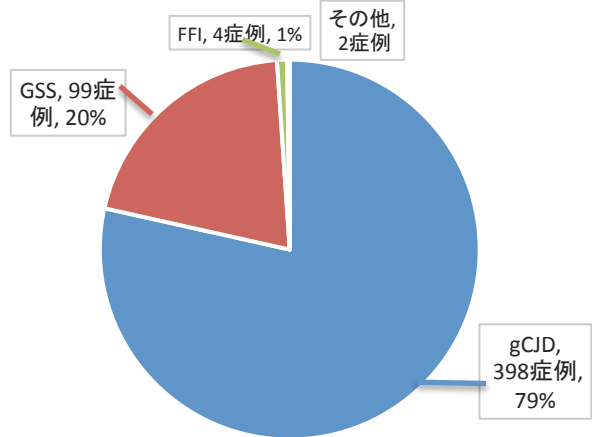
## わが国のプリオン病のサーベイランス結果（～2015年9月）

研究分担者：国立精神・神経医療研究センター 水澤英洋

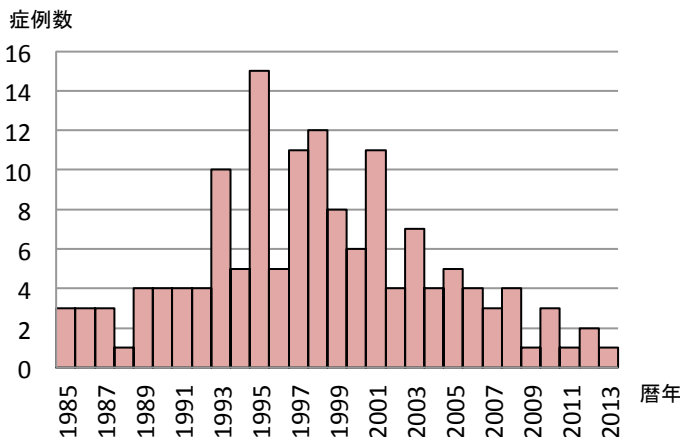
### 1 わが国における2499例のプリオン病症例の分類



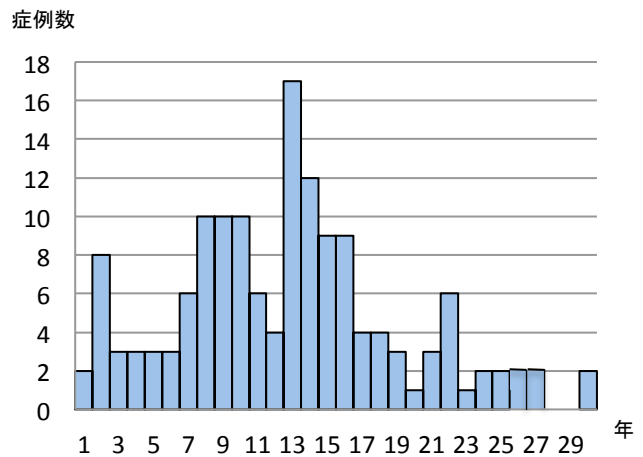
### 2 遺伝性プリオン病の分類



### 3 硬膜移植歴を有するクロイツフェルト・ヤコブ病患者149人の発病年の分布



### 4 硬膜移植歴を有するクロイツフェルト・ヤコブ病148人の移植から発病までの期間の分布



## 解説

- 1 CJDサーベイランス委員会は、平成27年9月15日までに合計2488例のプリオン病を同定した。病型別にみると孤発性CJDが1913例(76.8%)、遺伝性プリオン病が489例(21.0%)、硬膜移植後CJDが86例(3.4%)、変異型1例(0.04%)であった。
- 2 遺伝性プリオン病の変異別頻度は、V180I、P102L、E200K、M232R、他の順であった。
- 3 硬膜移植後CJDの発生は減少傾向にある。硬膜移植後から、発症までの年数の最長は30年であった。